

Have a nice trip!

なのはなの家

なのはな旅行は、寒波到来で3月に延期になりましたので、グループホームの様子を紹介します。

12月から子どもが6人になり、より一層賑やかで元気いっぱいなのはなの家になりました。なのはなの家の目標は頭文字を取り、「な」…和やか、「の」…のびのび、「は」…はつらつ(元気)、「な」…仲良く、です。その目標通り、はつらつで元気ですが、少しはつらつ過ぎるのではと思うぐらいです…(笑)。もう少し和やかさがほしいこの頃です…(笑)が、元気が一番、いつも笑顔をもらっています。

クリスマスには、みんなで飾り付けをし食べたい食事を準備しクリスマス会をしたり、お鍋をみんなで囲み楽しくご飯を食べたり、年末は大掃除も頑張りました。なのはな旅行は天候の関係で延期になりまだ行けていませんが、これからなのはなの家のみんなでたくさん思い出を作りたいです。そして、元気はつらつ、そして、のびのび和やかな家をこれからも目指していきたいと思っています。



すみれ旅行

1日はラウンドワンスタジアムに行きました。

昼前から夕方まで楽しい時間を過ごしました。時間も沢山あり、ゆっくりと遊べました。夕食は焼肉を食べました。 日常の生活では食べることの出来ないものをお腹いっぱい食べることが出来ました。

2日は海響館、シーモール下関に行きました。

海響館では、イルカとアシカショーを見ました。イルカはとても頭が良く、飼育員の声掛けに応えていました。アシカはカエルのうたを歌っていました。イルカとアシカが息を合わせて演技を披露しました。

シーモール下関では、昼食を摂ったり買い物をしました。帰りにはカフェに寄って、周南に帰りました。夕食はスシローでお寿司を食べました。パクパクお寿司を食べている子もいれば、この2日間にたくさん食べたことで、入店してすぐに満腹になった子もいました。



中高生のグループホームです。学校はそれぞれ違いますが、旅行で一緒に活動することで、親しさが増したようです。女の子も食べ盛り！美味しいものを一緒に食べる時間はとても大切ですね。インフルエンザが心配の季節でしたが、旅行後誰も体調を崩すことなく、安心しました。

青葉旅行

9月14日から15日にかけて、一泊二日の岡山旅行を実施しました。

初日はベンガラ館を訪れ、地域の歴史や文化に触れた後、三井アウトレット倉敷や岡山駅周辺で買い物や散歩を楽しみ、それぞれが思い思いの時間を過ごしました。宿泊先ではゆっくりと体を休め、翌日に備えて英気を養いました。

2日は鷺羽山ハイランドを訪れ、アトラクションを満喫。名物のバンジージャンプに挑戦する姿や、サンバ隊の方に自ら声をかけて記念撮影をお願いするなど、主体的に行動する様子も見られました。

帰路では八丁櫓に立ち寄り、美味しい食事とともに旅を振り返りながら、充実した時間を締めくくりました。

旅行を通して、仲間と過ごす安心感や楽しさを共有し、心に残る経験を積み重ねることができました。今後も子どもたちの日常に寄り添いながら、豊かな体験の機会を大切にしていきたいと考えています。



男子のグループホームです。中高生男子、学校は違いますが、グループホームでは職員も一緒になってゲームを楽しんだり、進路について真剣に話し合ったり、生活場面で様々な時間を共有しています。旅行では、いつもと違った体験を子どもと職員で共有することができました。

今年度は8月に新しいグループホームが増えました。女の子のホームが3つ、男の子のホームが1つ、本園は男の子が生活しています。8月末に新体制となり、引っ越しもありました。子どもたちにとっても心も体も忙しい2学期だったと思いますが、子どもたちは協力的でとても助けられました。お互いの持ち味を認め合い、これからも子どもも大人も一緒に成長していきたいと思っています。

今年も共楽養育園児をサポートする会からご支援をいただき、旅行に行ってきました。

幼児旅行

今年の幼児旅行は日帰りで福岡県のアンパンマンミュージアムに行きました。初めての新幹線、電車に乗る子どももおり、景色とスピードに驚いていました。

アンパンマンミュージアムに到着すると見るもの全てに目を輝かせ「ダダダダだ！」「あれ行きたい」と興奮していました。レストランで昼食を食べた後大きなソフトクリームも平らげておりいつも以上の食欲に驚きました。アンパンマンショーを見ている時、動く着ぐるみが怖いのか、一人の男の子は泣き出してしまいました。それも良い思い出になりました。帰りは自分の好きなお土産を買いとても満足して帰りました。



本園で生活する男の子です。小学生以上のお兄さんとは興味がある物も違うので、アンパンマンミュージアムに行きました。日頃は強気な男の子も、実際に動くアンパンマンたちにタジタジでした。

本園旅行

今年は、小学生以上の9名の子ども達と一緒に大阪に旅行に行きました。いつもは泊まりがけの旅行で車での移動ですが、今回は新幹線に乗って交通機関を駆使して行きました。まず最初に行ったのは梅田スカイビル展望台。山口ではなかなか見ることが出来ないとても高い光景に足がすくむ子もいましたが楽しんでいました。

そこから大阪駅を散策してお土産を買いました。大阪ならではの物を買って嬉しそうにしていました。昼ご飯を食べてサバイバルゲームをしに行きました。最初は皆緊張していたようでしたが、何度かしていると慣れたようでとても楽しそうにしました。実際当たると結構痛いようです。サバイバルゲームを終え帰りに駅弁を買って、新幹線の中で食べながら帰りました。日帰りの旅行はなかなかないのですがとても楽しめました。



8月から、本園で生活するのは男の子となりました。思春期真っ盛り男の子たち、もり沢山の旅行を思いっきり楽しみました。

すずらん旅行

島根県に行き、まず1日はアクアスへ行きました。アクアスではアシカや白イルカのショーを見ることができました。水族館のスタッフさんの話を子どもたちも真剣に聞いており話が終わった後、自分の口でアシカとアザラシの違いについて説明してくれました。しっかり聞いているのだと感心すると同時に、少しでも子どもたちの興味・関心が向けられたことに嬉しく感じました。また、水族館でショーを見るのは初めてという子もおり、とても良い体験ができました。

2日目は、浜田市世界子ども美術館とサンドミュージアムへ行きました。美術館では、様々な作品を作ることができ、どの子も自分の作品を作って嬉しそうにしていました。サンドミュージアムでは、ガラスのクリスマスツリー作りをしました。几帳面に飾りつけをする子どもや、迷いなく飾りつけを決める子どももおり、一人ひとりの性格がよく出ていて感じました。完成したクリスマスツリーは、持ち帰ってそれぞれの居室に飾っています。



8月に新しいグループホームが立ち、すずらんの家のメンバーで初めての園旅行でした。一緒に暮らし始めて3カ月ほどしか経っていませんが、最初から最後まで、とても楽しい雰囲気の中で旅行をすることができました。



自立支援委員会紹介

自立支援委員会では、子どもたちの卒業後の就労や自分で生活する力を身につけるために様々な活動を行っています。その活動をご紹介します。



今回は税金の話を中学生と高校生に話しました。

税については、普段の生活で意識することは少ないかもしれませんが、自立した時に必ず必要になります。子どもたちに分かりやすく要点をまとめるのは大変でしたが、職員も準備をしながらとても勉強になりました。

話をしていく中で、質問をすると答えてくれたり、知っている知識を話してくれたり税金の話を理解しようとする積極的な姿も見ることができました。

税金の話の後には、レンジで簡単に作れるプリンも作りました。慎重に作ったものの難しくて卵が分離してしまってこれはプリン?といったものが出来上がった子もいましたが、味はプリンで美味しく食べることができ、とても満足していました。

またこういった機会が、社会に出た時に必要な知識を少しでも持ってもらえると嬉しいです。

自立支援委員会主催で中高生向けの調理体験を行いました。今回は事前に子どもたちに作りたい料理のアンケートを取り、その中から多くあがっていた「からあげ」をメインに「みそ汁、千切りキャベツ、サツマイモチップス」を作りました。

グループホームで生活している子どもは、普段から料理を手伝ってくれているためとても手際が良かったです。お昼の時間には全て作り終えることができ、全員で合掌して食べる事が出来ました。作って食べる楽しさを経験していき、自立した時に「何か作って見ようかな?」と気軽に料理ができるのが良いです。

今回は、男の子に向けた調理体験を企画しています。



木工教室

夏休み最後の日曜日、卒園生 M 君に協力してもらい、木工教室を開催しました。将来はどんな仕事をしたいか、職業体験を通して具体的にイメージする機会になればと企画しました。M 君は子どもたちの作りたい物を事前に聞き取り、設計図や完成図を準備してくれており、子どもたちは年齢に合ったものづくりを体験させてもらいました。大工さんにネジの閉め方や組み立て方を教わりました。「作りたい」がドンドン膨らんで、余った時間と材料でもものづくりを始めた子もいました。職員はグループホームで使う野菜入れを作ってもらいました。

ものを作る楽しさや人との関わりを十分に体験することができ、有意義な一日となりました。

今年度発足したレクリエーション係!その活動をご紹介します。

〈レクリエーション大会〉

子どもたちから「子どもも大人もみんなで遊びたい」という声が上がりと、徳山総合支援学校体育館をお借りしてレクリエーションを実施することになりました。

当日は、大縄跳び、ドッジボール、バドミントン、バスケットボールなど、さまざまな遊びに取り組み、年齢を超えて楽しい時間を過ごしました。

大縄跳びでは、高校生が小学生に優しく声を掛けながら一緒に楽しむ姿や、中学生が「どうしたらうまく跳べるか」を工夫しながら挑戦する姿が見られ、子どもたちの意外な一面を知る機会となりました。

中でも特に盛り上がったのはドッジボールで、子どもたちが職員にボールを当ててアウトにした場面では、敵味方関係なく歓声上がり、会場は大いに盛り上がりました。

次回のレクリエーションも、ぜひお楽しみにしてください。



〈バーベキュー大会〉

夏休みに、みんなが本園に集まってバーベキューを行いました。

当日は天候にも恵まれ、子どもたちの元気な声と笑顔が園内に広がる中、終始にぎやかな雰囲気の中でBBQを楽しむことができました。お肉や野菜を焼きながら、「おいしい」「まだ食べたい」といった声があちこちから聞こえ、食事の時間を心から満喫している様子が見られました。

食後は、夏ならではの行事としてスイカ割りや手持ち花火を行いました。友だちと順番を守りながら花火を楽しみ、光る火花に歓声を上げるなど、思い出に残るひとときを過ごしました。

片付けの際には、子どもたちが自ら声を掛け合い、協力して取り組む姿も見られ、最後まで笑顔あふれる一日となりました。



〈日米親善マラソン大会〉

日米親善マラソンに参加しました。大会当日は、緊張と期待が入り混じる中、それぞれが自分のペースを大切にしながら、最後まで走り切ることができました。仲間と声を掛け合い、励まし合いながらゴールを目指す姿から、日頃の関係性やチームワークの深まりを感じました。

走り終えた後は、みんなでラーメンを囲み、達成感とともに温かい時間を共有しました。その後はそれぞれのホームに戻り、一日の疲れをゆっくりと癒しながら、それぞれが頑張った自分自身を振り返る時間となりました。

行事を通して、目標に向かって努力することの大切さや、仲間と力を合わせてやり遂げる喜びを実感する一日となりました。今後も、子どもたちが挑戦と達成を経験できる機会を大切にしながら、日々の成長を支えていきたいと思ひます。



おかえり会～来てくれてありがとう～

8月11日に、今年もおかえり会を開催しました。今回は、卒園生にはがきやSNSでもお知らせをしました。子ども同士で呼び掛けて久しぶりに顔を出してくれる子もいました。「先生、俺分かる？嫁と子どもを連れて来た。」と出席してくれた卒園生、これまた数年前に園祭で会って以来でした。OB・OGに声を掛け、長年勤められた藤井恵美子先生や田村朗子先生にゲストとして来てもらいました。藤井先生は足が悪いため、「藤井先生！」と介護職についてる子どもが手助けをしてくれました。当日は、前日からの悪天候で交通機関がストップをする中、何とか新幹線や高速バスで駆けつけてくれた子どももいました。

卒園生は、OB・OG親同士で話しが弾み、子どもたちは仲良く遊び楽しく過ごすことが出来ました。

今年も、山の日である8月11日に行おうと計画をしています。1年に一度ですが、皆で会って話しが出来たらと思っています。



20歳のお祝い

今年は、1月12日が成人式でした。卒園生3名に、職員で色紙を作ってお祝いのメッセージを届けることにしました。

Aさんは、入所期間が短かったので関わりが殆どありませんでしたが、色紙を持って尋ねると喜んでくれました。「振袖を着て成人式に行ったよ。」と言って写真を見せてくれました。これまで仕事を休むことが多いと聞いていましたが、周りの方の応援や励ましが有り続けて仕事に行くようになっていました。次回は、Aさんの綺麗になった部屋で会う約束をしています。

B子さんは、色紙の写真を見て「こんな顔をしていたんだ。」と言いながらも喜んで色紙を受け取ってくれました。まだ、仕事には就けてませんが、春からは家から出て自立を考えて動こうとしています。これからも、周りの人を頼って行って欲しいです。園も応援を続けていきます。

C子さんは、2年近く働いた仕事を離職し、悩んだ末に高校で取った資格を生かせる仕事に就きたい思い



毎年恒例門松作り



今回で24回目となる年末の恒例行事の門松作り。昨年も卒園した大工のMさんと一緒に行いました。竹を切って準備をしていたところ、卒園して5年目のKさんと、この春卒園したHくんが来園してくれ、措置延長中で社会人のEくんも加わり、3人で協力して門松一つを作ってくれました。

いつもは大工のMさんと職員が一つずつ作るのですが、今回のように卒園児が顔を見せに来てくれ門松を作ってくれる日があるなんて夢にも思っていませんでした。頼もしくもありうれしい時間となりました。今年の門松作りも、新たな卒園生がふらっと園に来てくれて、一緒に門松を作ることがあるかも……と楽しみにしています。



自立支援担当職員より

今年の盆休み、40年振り30年振りに卒園生が、園に顔を見せに来てくれました。思い出の建物はありませんが、お互いに年を重ね昔を懐かしみながら話をする事が出来ました。また、LINEで繋がりが福島県に住んでいる卒園生と交流が出来るようになりました。卒園生も結婚をし、家族が増えそのうち子育ての相談も増えてくるのではと思っています。

Amazonみんなで応援プログラムを通して食料品等の寄付や他に食料の寄付があった時は、近辺で会いに行ける卒園生に食料を届けながら元気な顔を見に行ってます。たいていが一人暮らしをしており、生活において値段が高騰したのもあり、食料等を持って行くと喜んでくれます。

これからも、みんなが頑張っているので応援をして行きたいと思っています。

編集後記

共楽養育園の側に、大きな桜の木があるのをご存じの方も多と思います。春になると、桃色の花を咲かせて子どもたちの進級進学をお祝いしてくれます。夏には、青々とした葉が茂り下から見上げると、青空に葉っぱの緑が生えて元気が出てきます。秋には色とりどりの落ち葉の絨毯となり、子どもたちは宝物を集めるようにきれいな落ち葉を拾ってプレゼントしてくれます。

この桜の木は、共楽園の移り行く日々そして子どもたちの成長をずっと見守ってくれ、いつも「大丈夫、大丈夫」といつくくれる気がします。近くに来られた際は、大きなお母さんのような桜の木を楽しませて下さいね。

山野欣子